

【月案】5月・4歳児

今月の保育のポイント

- 新しい生活に慣れ、安定して過ごせるよう、自分なりにやってみることを大切にする。
- 好きな友達や保育者と遊びを展開し、遊びが広がっていく楽しさと、一人でじっくりと取り組み遊ぶ面の両方を大切に、自分なりの楽しさを子どもが見つけられるように見守る。
- ルールのある遊びやごっこ遊びの中で、困ったことや新しい発見があったとき、自分達で解決、広げられそうか見守り、必要ならば保育者が入るようにする。
- 自ら物に関わって遊べるように、遊びの素材を整理し、分かりやすく整える。好きな遊びから友達との関わりも広がっていくねらい。
- 子どもが不安な時は、子どもの葛藤しているところ、良い所を認め、励ましながら寄り添って同じ目線で向き合う。

月のねらい

- 園での生活の流れが分かり、身の回りのことを自分で行おうとする。
- 保育者に気持ちを受け止めてもらいながら、のびのびと自己表現をする。
- 遊びや活動を通して友達と関わり、気の合う友達を見つける。
- 友達と一緒に身体を思いっきり動かして遊ぶことを楽しむ。
- 春の自然に触れ、生き物や草花に興味関心を持つ。
- 連休明けを無理なく快適に過ごせるようにする。
- 連休中にあった出来事を保育者や友達に伝えようとする。
- 衣服調節や水分補給を行いながら自分の健康を意識する。
- こどもの日や母の日等の行事について知り、製作することを楽しむ。
- 保育者や友達と一緒に生活したり遊ぶ中で信頼関係を育む。

週のねらい

その1

- 1週目：こどもの日を知り、日本の伝統的な食べ物に興味を持つ（教育）
- 2週目：生活リズムを整え、安定した情緒で楽しく過ごす（養護）
- 3週目：春の自然に触れ、調べたり遊びに取り入れたりする（教育）
- 4週目：気の合う友達と一緒に思いっきり身体を動かして遊ぶことを楽しむ（教育）

その2

- 1週目：保育士や友達と一緒に体を動かして遊ぶ（教育）
- 2週目：連休明けの生活リズムの変化に留意しながら、落ち着いた雰囲気でも過ごす（養護）
- 3週目：友だちや保育者と関わり遊ぶ中で、相手の気持ちに気づいていく（教育）
- 4週目：戸外遊びや排泄のあとにはすすんで手洗いをし、清潔に保とうとする（教育）

その3

- 1週目：連休明けの生活リズムや体調に考慮し、無理なく過ごせるようにする（養護）
- 2週目：友達と一緒にルールがある遊びを楽しむ（教育）
- 3週目：生活の流れが分かり、自分でできることは進んで行う（養護）

- 4週目：自分の思いやイメージを自分なりに言葉にして伝えようとする（教育）

その4

- 1週目：連休中に経験したことを保育者や友達に話す（教育）
- 2週目：母の日に興味を持ち、気持ちを込めて製作する（教育）
- 3週目：友達を遊びに誘ったり誘われたりしながら関係を深める（教育）
- 4週目：保育者の声かけで衣服調節をしたり水分補給をして心地よい生活を送る（養護）

前月末の子どもの姿

養護（生活）

- 進級を喜び、身の回りのことを張り切って行おうとする姿がある。
- 新しい友達に興味はあるが、なかなか自分から話しかけられないでいる子どもが多い。
- 新しい環境や保育者に慣れ、安心して生活する姿が見られるようになった子どももいれば、まだ自己発揮できずに大人しく過ごす子どももいる。
- 生活の流れが分からずに戸惑っていた子どもも少しずつ覚え、身の回りのできることは自分でやろうとする姿がある。
- 新しい環境の中で、なかなか食事が進みにくい子どももいる。
- 自分の座席やロッカーの場所、グループ等を覚えて意欲的に生活している。
- 友達に興味を持ち、「今日は○○くんお休みだね」と欠席している子について話す。
- 友達と会話をしながら食事をすることを楽しんでいる。
- 当番活動を楽しみにしている。
- 子どもの日に興味を持ち、家庭にある兜やこいのぼりについて嬉しそうに話す。

教育（遊び）

- 活動を通して友達が少しずつ増え、気の合う友達と一緒に遊びを楽しむ子どももいる。
- 気持ちに折り合いがつけられない時には手が出てしまったり泣いたりしてしまう子どももいるが、気持ちを言葉で表現しようとする姿も見られる。
- 虫や草花を見つけ、動きを観察したり触ってみたりしながら親しんでいる。
- 戸外遊びでは、友達と一緒にかけっこなどをして楽しむ子どももいれば、一人で乗り物に乗ったり砂場で遊んだりする子どもがいたり様々である。
- 月の歌を歌ったり曲に合わせて踊ったりすることを楽しんでいる。
- 友達と「～したい」と気持ちを伝え合って遊ぶことを楽しんでいる。
- いろいろな遊びに興味を持ち遊んでいる。
- 友達と役を決めてごっこ遊びをしている。同じ役の子が何人かいても気にしない様子で遊んでいる。
- マットや平均台、跳び箱等で体を動かすことを喜ぶ一方で「できない」「手伝って」と言葉にする子もいる。
- 散歩に出かけることを喜び、公園では活発に遊ぶ姿が見られている。

活動内容（五領域対応）／環境構成と援助

養護（生活）

- **活：**生活の流れを覚え、身の回りのことを自分でやろうとする。（健康）
環：コップを置いたりタオルを掛けたりする場所は子どもが起きやすい場所を改めて工夫し、身の回りのことを子ども自身でできる環境を整える。
- **活：**保育者に気持ちを受け止めてもらいながら安心して過ごす。（健康・人間関係）
環：生活の変化に慣れるのに時間がかかる子どももいるので、精神的に不安定になってしまう子どもには寄り添い、安心して過ごせるように丁寧に気持ちを受け止めていく。
- **活：**当番活動を覚え、友達と協力しながら行う楽しさを味わう。（人間関係）
環：当番活動の際には数人のグループを設定し、友達と教えあったり協力したりする機会がもてるようにする。
- **活：**手洗いうがいの正しいやり方を知り、自分で行おうとする。（健康）
環：手洗いうがいのやり方を絵本などを使って説明したり保育者がやって見せたりし、子どもが分かりやすいように伝える。
- **活：**こどもの日を知り、日本の行事や食文化に興味を持つ。（環境・言葉）
環：こどもの日を知らせる際には絵本や小さな鯉のぼりなどを準備し、子どもが実際に触れられるようにする。
- **活：**ゆったりと落ち着いて過ごし、連休明け、体調に配慮してもらいながら園生活のリズムを思い出す。（健康）
環：連休明けで生活リズムが崩れている子もいるので、連休中の様子を保護者から聞き取りをしておく。精神的に不安定な子や疲れている子に寄り添い、一つひとつゆっくり丁寧に出来るように穏やかに接する。
- **活：**手洗いの必要な場面と、程度を理解して丁寧にを行う。（健康）
環：手を洗う時や必要性を再確認し、その手順と時間を含めて丁寧に伝え続ける。綺麗になった喜びや快適さを声掛けし、子どもが意識できるように進めていく。
- **活：**友達や保育者との関わりの中で、相手の気持ちに気づき、クラスの仲間意識を育む。（人間関係）
環：友達とトラブルや喧嘩が起こる前に止めに入るのではなく、困ったことがあった時に入れるようにしっかり見守る。両者の言い分や、その気持ち両方を聞き出し、お互いどんな気持ちなのか子どもに丁寧に穏やかに伝える。
- **活：**自分の健康に関心を持ち、衣服交換をしたり水分補給をしたりする。（健康）
環：子ども達と衣服交換や水分補給をする理由を考えながら、自分の健康に対する意識を高められるようにする。
- **活：**生活に必要な挨拶を自分から行おうとする。（健康・人間関係）
環：保育者が笑顔で挨拶をすることで、挨拶を交わす心地よさや意欲に繋げていく。自分から挨拶する姿を「とっても元気な挨拶嬉しいな」と認めて喜びや挨拶の習慣に繋げる。
- **活：**排泄後の始末を自分でしようとする。（健康）
環：トイレトペーパーの長さや拭き方等丁寧に伝えていき、自分で出来た子は最後に保育者が確認して清潔にする心地よさに繋げる。
- **活：**身の回りが整う気持ち良さが分かり、自分から片付けをしようとする。（健康）
環：保育者が保育室内の整頓をしたり、物を丁寧に扱う姿を示しながら、綺麗になる心地よさや物を大切に扱う気持ちの育ちへ繋げていく。
- **活：**野菜の栽培を通して、生長に気付いたり、自らお世話しようとする。（環境）
環：全員が野菜の栽培に関われるようにし、日々の生長を写真で記録しながら生長への興味に繋げる。又、毎日観察する中で野菜に親しみ、お世話しようとする気持ちに繋げていく。

- **活：**嬉しい言葉や悲しい言葉について考える。（言葉・人間関係）
環：クラス全体で言葉について話し合い、言葉について表にして可視化することで意識に繋がれるようにする。
- **活：**体と食べ物の関係を知り、意欲的に食事をする。（健康）
環：絵本や紙芝居を通して体と食べ物の関係について分かりやすく知らせ、日々の献立で使われている食材について分類分けをしながら食べ物への関心や食事への意欲に繋げていく。
- **活：**母の日について知り、保護者への感謝の気持ちが芽生える。（環境）
環：保護者が題材の絵本を読み聞かせたり「いつもどんなことをしてくれてるかな?」「○○された時、どんな気持ちになる?」と問いかけながら保護者への好きという気持ちや感謝の気持ちに繋げていく。

教育（遊び）

- **活：**友達や保育者に言葉で気持ちを伝える満足感を味わう。（言葉・人間関係）
環：子どもが言葉で表現しようとしている時にはじっくりと時間をとり、自分で伝えられた満足感を味わえるようにする。また、必要に応じて代弁をし、どう表現したらよいか伝えていく。
- **活：**活動や遊びを通して新しい友達とも関わり、気の合う友達を見つける。（人間関係）
環：友達との楽しい関わりを経験できるよう、遊びの中でつながりそうな場面を盛り上げて援助したり、協力して取り組む活動を展開する。
- **活：**月の歌やリズム遊びを通して、音楽に親しむ。（表現）
環：月の歌やリズム遊びは子どもが親しみやすいものを準備し、日々繰り返し行えるようにすることで活動を広げていく。
- **活：**戸外で身体を思いっきり動かして遊ぶ心地よさを味わう。（健康）
環：暖かい日には戸外でもゆっくり遊ぶ時間を設け、好きな遊びに夢中になれる機会を設けるようにする。
- **活：**モノの正しい使い方に気をつけて、安全に使おうとする。（環境）
環：遊び方やモノの扱い方で危険があることは繰り返し伝え、子ども自身が気をつけられるようにしていく。
- **活：**春の自然や季節の移り変わりに興味をもち、不思議に思ったり調べたりする（環境）
環：保育室に図鑑を準備しておくことで、季節の植物に興味関心が湧くように工夫する。
- **活：**こどもの日行事に参加し、異年齢児と楽しく関わる。（人間関係・環境）
環：自分が成長した喜びや、異年齢児との差を実感できるように、こどもの日の由来を紙芝居などで読み聞かせしたり、年下の子にやさしく接する気持ちを育むよう、自分がどれくらい大きくなったか、小さい子との差はどれくらいあるかを理解できるように身長や手の大きさ比べをする。
- **活：**夏野菜の成長に期待を持ち、野菜を食べに来る虫や野菜を育てる土に触れ、生物の成長や命に触れる。（健康・環境）
環：夏野菜を植える前、土を触ってみてふかふか加減や温かさを感じたり、植えた後水やりの世話をしながら成長を確認できるように目印ラインを付けた棒をさしておいたり、葉っぱを食べる虫の様子や生態について一緒に調べられるように図鑑を用意するなど、子どもが1つのことを深められる環境を用意し、寄り添っていく。
- **活：**時に好きな遊びに没頭したり、時には保育者や友達と思い切って身体を動かして遊ぶ。遊びのメリハリをつける。（健康）
環：静の活動の後には動の活動を入れるなど、子どもが集中と発散のバランスをとり、メリハリをつけられるように予定を工夫する。切り替えが難しい子には、保育者が動作とその意味をひとつずつ丁寧に伝える。
- **活：**友達と共通のイメージを持って遊ぶことを楽しむ。（人間関係・言葉）
環：イメージを共有しながら遊ぶ様子を見守り、楽しさに共感しながら、「～したら、もっと○○みたいだね」とさりげなく提案することでよりイメージが膨らむよう関わる。

- **活**：友達の思いを聞いたり、異なる思いを受け入れたりする。（人間関係・言葉）
環：気持ちが昂る時は一旦場所を移動して気持ちが落ち着いてから話をする事で、保育者や友達の言葉に耳を傾けられるようにする。
- **活**：春の草花を使って色水を作り、色づく不思議や色が混ざり合う過程を楽しむ。（環境）
環：使ってよい草花について確認した上で安全に色水遊びが出来るようにする。保育者が見本を示すことで興味に繋げていく。発見や疑問を受け止めながら自然を使った遊びの楽しさを味わえるようにする。
- **活**：固定遊具や運動用具で体を動かして遊ぶ楽しさや自信を感じる。（健康・環境）
環：遊ぶ前に約束事について確認する。次のステップに挑戦している姿を受け止め、危険がないよう側で見守ったり、体を支えて援助することで体を動かす喜びや自信を感じられるようにする。
- **活**：製作や描画、歌や体等で自分を表現することを楽しむ。（健康・表現）
環：一人ひとりが自由に表現する姿を温かく見守り、新しい技法や描き方、体の動かし方等を伝えていくことで表現の幅が広がっていくよう関わる。
- **活**：友達とルールを伝え合いながら集団遊びを楽しむ。（人間関係）
環：友達にルールを伝える姿を見守り、必要に応じて伝え方を知らせたり、保育者も一緒にルールを確認しながら集団遊びの楽しさを感じられるようにする。
- **活**：保育者の仲立ちのもと異年齢児と触れ合って遊ぶ。（人間関係）
環：年下の子をお世話したいという気持ちを受け止めて接し方を見守ったり、年上の子の遊びに興味を持つ姿を受け止めて遊びに加われるよう援助する。
- **活**：砂や泥の感触を味わいながら遊ぶことを楽しむ。（環境）
環：水を用意しておき、子どもが自分で砂から泥を作る環境を作り、砂や水の量で色や質感が変わることに子どもが気付けるようにする。気付きを受け止めながら砂や泥で遊ぶ楽しさや感触の気持ち良さに繋げていく。
- **活**：自分が作った作品や製作を発表し、認めてもらう喜びを味わう。（健康・人間関係・言葉）
環：「どんなところが素敵かな？」「この作品のどんなところが好き？」と保育者が問いかけて友達から認められる経験をすることで自信や喜びに繋げるとともに、他児を認める気持ちの育ちへ繋げる。

健康、安全面で配慮すべき事項

- 新しい環境の中で体調を崩しやすい子どももいる。一人ひとりの普段の様子を気につけ、体調の変化に早く気付けるようにする。
- 保育室内や戸外に危険なものがないか、破損している玩具がないかなど改めて確認する。
- 天候に応じて衣類の調節を繰り返し伝え、子どもが体温調節を気につけられるように援助する。
- 気持ちが落ち着かず、危険な遊び方をしたり、友達への接し方が強くなったりすることもあるため、一人ひとりとスキンシップを図っていく。
- 玩具の遊び方、用具の使い方を丁寧に伝えていく。
- 怪我の時の手当や対応について職員間で確認し合っておく。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- 母の日フレーム／染め紙こいのぼり／じゃがいもでチューリップ

歌

- おかあさん（4歳児）／いちご（4歳児）／やまのおんがくか

絵本

- じゃぐちを あけると／ないしょのおともだち／なにからできているでしょーか？

手遊び

- キャベツの中から／ピクニック／さかながはねて

室内室外遊び

- フロッタージュ／高いチームが勝ち！新聞紙タワー／しっぽとり鬼ごっこ

行事

- 憲法記念日(5月3日)
- みどりの日(5月4日)
- こどもの日(5月5日)
- 愛鳥週間(5月10日～16日)
- 母の日(5月第2日曜日)
- 身体測定
- 健康診断
- 避難訓練
- 誕生日会
- クラス懇親会

食育

- 食事中のマナーを気にしながらも、友達と楽しい雰囲気の中で食事をする。
- こどもの日を通して柏餅やちまきなどを知り、伝統的な食べ物に興味を持つ。
- スプーンやフォークなど、場合に応じて使い分けながら食べる。
- 食器を丁寧に扱いながら、食事前の準備や食事後の後片付けをする。
- 食材や料理名を覚え、給食を楽しみにする。
- 野菜の栽培を通して、食べ物に興味を持つ。

異年齢保育

- 年下の友だちと手をつないで散歩する際は、「ゆっくり歩いてあげようね」と伝えながら見守る。
- 遊びの中で自分の思いを言葉で表現しきれないときは、さりげなく仲立ちし、思いの橋渡しをする。
- 年下の友だちに玩具を譲る優しさを認めつつ、譲るばかりにならないように配慮しながら関わる。
- 乳児に優しく話しかけたりふれあおうとする姿に寄り添い、安全な関わり方を示す。

- 年下の友だちの朝の支度を助ける姿を見逃さず、「手伝ってくれてありがとう」と伝える。

職員間の連携

- 連休明けは時間に余裕を持たせてゆったりと過ごせるよう、活動内容や時間配分を話し合う。
- 懇談会に向けて、個々の成長や交友関係の変化を共有し、保護者に伝わりやすいようにまとめる。
- 戸外では激しい動きが多くなるため、保育者同士で声をかけ合いながら、安全に留意して見守る。
- 援助が必要な子への伝わりやすい声かけや対応を話し合い、職員全体で統一した関わりを行う。
- 子ども同士のトラブルやケガは必ず共有し、保護者にも正確に伝えられるようにする。

地域と家庭との連携

- 一人ひとりの保護者とコミュニケーションをとり、信頼関係を築いていく。
- 園の情報や健康管理の方法などを掲示し、子どもの体調管理に配慮してもらえるようにする。
- ゴールデンウィーク中も規則正しい生活リズムを呼びかけ、休み明けに子どもがスムーズに園生活に戻れるよう協力してもらう。
- 気温や遊びによって衣服調節ができるよう、衣服の補充をお願いする。
- 期間に余裕をもって行事について知らせる。
- クラス懇親会では日常の様子を具体的に知らせるとともに、保護者同士が交流できるような時間を設ける。

長時間保育の配慮

- わらべうた遊びを通じてスキンシップを楽しみながら、一日の疲れや甘えに寄り添う。
- パズルや折り紙など、落ち着いて楽しめる遊びを用意し、落ち着いて過ごせるようにする。
- 夕方は日中に比べて気温が下がるため、必要に応じて衣服の調整ができるよう声かけを行う。
- 忘れ物がないか、子どもと一緒に確認しながら、荷物の整理整頓を促す。
- 保護者からの連絡事項や担任からの伝達事項をメモし、確実に申し送りを行う。

自己評価

- 新しい友達と関わり、気の合う友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえたか。
- 保育者や友達に親しみ、安定した情緒で過ごすことができていたか。
- リズム遊びなどを通して音楽に親しむことができたか。
- こどもの日には日本の文化に触れ、食べ物やこいのぼりなどに興味を持てていたか。
- 手洗いうがいを正しく行おうとしていたか。
- 戸外でゆっくり遊ぶ時間を設け、好きな遊びを存分に楽しめたか。
- 保育者や友達に対して、気持ちを言葉で表現することができていたか。
- はさみやのりなどモノの使い方に気をつけ、安全に正しく使うことができたか。
- 食事の際には簡単なマナーに気をつけながら食べ進めることができたか。
- 連休明けの生活リズムや体調に考慮して、少しずつ無理なく園生活に戻せるよう関わったか。
- 自分の気持ちを安心して伝えられる雰囲気作りをしたか。
- 気温や遊びの様子に応じて衣服調節や水分補給の声かけをしたか。
- 母の日について分かりやすく知らせ、保護者へ感謝の気持ちが持てるよう関わったか。
- 友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえていたか。

- 野菜の栽培を通して、食べ物に対する興味や関心が高まったか。
- 体を思い切り動かして遊ぶことを楽しみ、新しい挑戦をする意欲も芽生えていたか。
- 自然を取り入れながら遊ぶ楽しさを感じられていたか。
- クラス懇親会では、子どもの日常の姿を知らせて安心感に繋がったか。又、保護者同士が交流できたか。

ほいくのおまもり Plus!

文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー＆ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。

ほいくのおまもりプラス・トップページ

